



世田谷文学館友の会 おしらせ 第160号

2022年6月1日
世田谷文学館友の会
〒157-0062
世田谷区南鳥山1-10-10
世田谷文学館内
FAX 03-5374-9120
ホームページ
<https://setabuntomo.net/>

世田谷文学館・世田谷文学館友の会共催講演

「人生百年時代のドストエフスキー」

世田谷文学館 館長 亀山 郁夫氏

「人生百年時代」を健やかにサバイバルするためには、どうすればよいのか。それこそは、教養力をしっかりと身につけることにあるのではないだろうか。では、教養とは、何か。教養とは、それが「共有」されて初めて価値をもつ知の体系である。「哲学はすべての学問の母である」とは、古代ローマの哲学者キケロの言だが、「教養の母」は、何ととっても文学。ところがその文学が、活字離れの加速化とともに顧みられなくなった。文学が「教養の母」であるには、何よりも私たち一人ひとりが、「読む」喜びに目覚めなくてはならない。そしてその喜びを、孤独な知的快楽から、真の「共有」へと広げていかなくてはならない。

本講演では、ロシアの作家フォードル・ドストエフスキーとの出会いから現在に至るまでの約六十年の人生を振りかえりつつ、読書とは何か、翻訳とは何か、教養とは何かを考え、コロナと戦争という大災厄時代の「狂気」をともに生き延びていくすべを探っていきたい。
(講演者からのメッセージ)

講演者： 亀山 郁夫氏 (ロシア文学者、名古屋外国語大学学長)

日時： 7月9日(土) 午後2時～4時 (受付1時半より)

会場： 世田谷文学館 1階 文学サロン

参加費： 会員500円 会員以外1000円

申込締切日： 6月27日(月) 必着

定員： 120名 (応募者多数の場合は抽選)

【世田谷文学館からのお知らせ】

今夏、次の展示が開催されます。

シーズン展示「漫画家・山下和美展 ライフ・イズ・ビューティフル」

入場無料 1階文学サロン 2022年7月30日(土)～9月4日(日)

『天才 柳沢教授の生活』『不思議な少年』などの作品で知られ、昨年『ランド』で手塚治虫文化賞マンガ大賞を受賞した山下和美。世田谷の自宅近くにある水色の洋館(旧尾崎行雄邸)の保存に奮闘するコミックエッセイ『世田谷イチ古い洋館の家主になる』や最新作『ツイステッド・シスターズ』ほか、代表作の漫画原画100点以上を展示し、彼女の作品世界に迫る。

(裏面に続く)

アイヌの苦悩と誇り

—バチェラー八重子、違星北斗の短歌を中心に—

世界のグローバル化と共に人類は「多民族共生」を掲げてきました。しかし、日本人がこの言葉を真に実現しているのかと言えば疑問です。昨年もテレビ番組でアイヌ民族に対する侮蔑的な発言があり問題になったからです。顧みれば明治以降、日本政府の同化政策の下で言語や固有の文化を失った日本の先住民族・アイヌは、日本国平民とされながら長らく「旧土人」という名で統治されてきました。アイヌ民族はその苦悩の想いをどのように日本語文学に描いたのでしょうか。今回はバチェラー八重子と違星北斗の短歌を取りあげます。

アイヌ民族の一人、バチェラー八重子が刊行した歌集『若きウタリに』（昭和六年）には「滅亡の民」と見做されたアイヌの状況への憂いが描かれています。そして、アイヌ民族の誇りを失いかけたウタリ（同族の意）に民族再興を喚起しています。その際、神謡「アイヌラックル」に登場する英雄を養育するサポ姫降臨を願う気持ちを詠んでいるのですが、果たしてサポ姫は降臨したのか、考えてみたいと思います。また、民族復興のために立ち上がりながら、27歳の若さで亡くなった夭折のアイヌ歌人・違星北斗の短歌に込められた魂の叫びにも耳を傾けたいと思います。（講師からのメッセージ）

講 師 : **安元 隆子氏**（日本大学国際関係学部特任教授）
平和と自由、平等のために体制と戦った女性たちの言説を研究中。

日 時 : **9月1日（木）** 午後2時～4時（受付1時半より）

会 場 : 世田谷文学館 2階 講義室

参 加 費 : 1000円

申込締切日 : 8月22日（月）必着（応募者多数の場合は抽選）

俳句鑑賞会 6月28日（火）、7月26日（火）、8月23日（火） 午前10時半～正午
文学館2階講義室 参加費 200円 秀句一句とご自作があれば一句お持ちください。

*次の「おしらせ161号」は9月上旬発行予定です。

<催事変更の場合のお知らせについて>

当会の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は、国や都、世田谷区の方針に沿って対応してまいります。状況によりご案内の催事をやむを得ずキャンセルする場合などは、ホームページの友の会イベント欄などでお知らせします。また、催事参加ご案内（返信）後は、対象者へお知らせします。

<催事参加申込み方法>

★ホームページ「**世田谷文学館友の会**」>「**イベントお申し込みページ**」で申し込みが可能です。

★「**往復はがき**」でのお申し込みは、下記の事項を記入してお送りください。

- ①催事名 ②開催日・参加希望日 ③現在お持ちの会員番号（会員以外の方は「非会員」と明記）
④住所・氏名（ふりがな必須）・電話番号（散歩応募の場合は携帯番号） ⑤今後ご希望の講座・散歩など。

連名申込み可（③と④を必ずご記入ください。また返信用はがきの宛名にも連名者氏名をお忘れなく。）。

参加費は当日お支払いください。

宛先 〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10 世田谷文学館内 「世田谷文学館友の会」 FAX 03-5374-9120
ホームページ 「世田谷文学館友の会」> <https://www.setabuntomo.net/>

お問い合わせは友の会専用携帯：080-1154-1562 へ。毎週火曜日10時から17時、友の会スタッフ在館。